

交通・物流拠点へのアクセス性の向上を図り、 地域経済の活性化を推進する道づくり

事業主体 青森県
計画期間 H25～H29

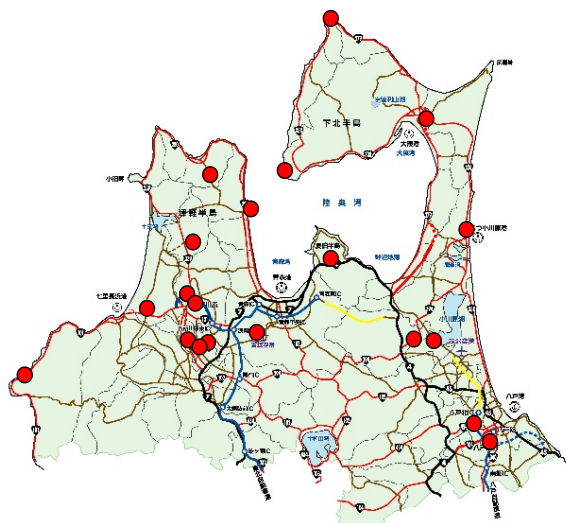
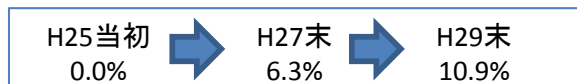
■計画の概要

計画の目標

交通拠点、物流拠点(IC等)へのアクセス道路の整備を推進し、利便性及び流通速度の向上による地域経済の活性化を図る。

成果目標

交通拠点、物流拠点(IC等)への半径10km圏内における平均アクセス時間を10.9%(H29末)短縮させる。



● 交通拠点(IC、空港、港湾、駅、工業団地)

事業内容

県内全域でのバイパス、現道拡幅等の道路改築事業を実施

代表工区

- 国道279号 二枚橋バイパス L=4.1km
- 国道339号 五所川原北バイパス L=5.2km
- 青森浪岡線 八ツ役工区(現道拡幅)L=1.7km etc.

■中間評価の結果

事業実績

- 事業数による進捗 【計画全体43事業】
着手率65%(28事業)、完了率14%(6事業)
- 完成した代表事例
国道339号 五所川原北BP L=1.3km(H26部分供用)



整備前(現道状況)



整備後(バイパス供用状況)

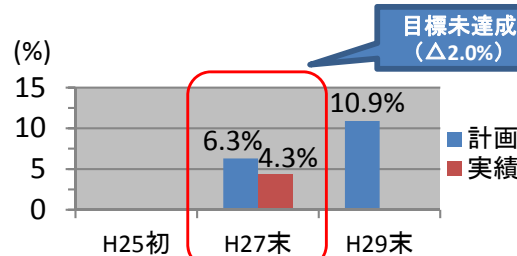
整備効果

津軽自動車道
五所川原北I.C
へのアクセス利便性が向上

現道交通量の減少による生活圏域での安全性が向上

成果目標(H27末)の達成状況

対象交通・物流拠点への半径10km圏内におけるアクセス時間の短縮率(%)
(アクセス時間短縮率)={1-Σ(H29末時点におけるアクセス時間)/Σ(H25当初時点におけるアクセス時間)}×100



■今後の方針

限られた予算での事業実施や用地取得の遅れから中間目標値を下回っているが、最終目標達成に向けて、完了が間近な工区への予算優先配分を行うなど引き続き事業の進捗を図る。

【社会資本整備総合交付金 中間評価結果 総括表】

H29.3

青森県 県土整備部 道路課

計画番号	計画の名称	交付団体	着手年次	完了予定年次	計画の成果目標 (定量的指標)	要素事業の進捗状況 H27時点					評価指標(中間)の実現状況					今後の方針	
						全体事業数 (※1)	評価指標母数	実施中事業数	完成済み		H25当初現況値	H27末中間評価					H29末最終目標値
									事業数	延長等		目標値	実績値	増減	増減の理由等		
16	交通・物流拠点へのアクセス性の向上を図り、地域経済の活性化を推進する道づくり	青森県	H25	H29	交通拠点、物流拠点(IC等)への半径10km圏内における平均アクセス時間を10.9%(H29末)短縮させる。	43	43	28	6	9.7 km	0%	6.3%	4.3%	-2.0%	限られた予算で事業を実施しているため。 用地取得の遅れによる。	10.9%	引き続き最終目標に向けて事業進捗を図る
20	緊急合同点検および交通安全プログラムに基づく通学路の安全を確保するあもりの道づくり(防災・安全)	青森県	H25	H29	緊急合同点検結果による通学路の要対策箇所を整備率を61.5%(H29末)に進捗させる。	58	13	8	5	3.3 km	0%	53.8%	38.5%	-15.3%	用地取得の遅れ等による。	61.5%	引き続き最終目標に向けて事業進捗を図る
					緊急合同点検および交通安全プログラムに位置付けられる対策必要箇所のうち、本整備計画に記載される箇所の整備率を63.2%(H29末)に進捗させる。	58	57	34	18	9.8 km	—	33.3%	31.6%	-1.7%	用地取得の遅れ等による。	63.2%	引き続き最終目標に向けて事業進捗を図る

※1 事業数はA基幹事業+C効果促進事業+その他関連する事業の合計。